

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 12 月 10 日

### 【事業所概要【事業所記入】】

事業所番号	3471504112		
法人名	有限会社エムプランニング		
事業所名	グループホーム太陽		
所在地	広島県福山市神村町6409番地2		
	電話番号	(084)934-8814	
自己評価作成日	平成 29 年 9 月 8 日	評価結果市町村受理日	平成 30 年 1 月 4 日

※事業所の基本情報は、介護サービス公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【外部評価機関概要【評価機関記入】】

評価機関名	一般社団法人 みらい
所在地	広島県福山市山手町1020番地3
訪問調査日	平成 29 年 11 月 21 日

### 【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

<p>田園風景の残る地域の中で、ご利用者様お一人おひとりにあわせ、共感とコミュニケーションを重視したバリエーション療法、タクティールケア、園芸療法、音楽療法などを用い、常に笑いの絶えない家庭的な雰囲気を持った施設づくりに努力しております。ボランティア団体の方々も定期的にお越しくださり、大正琴、踊り、カラオケ、ハーモニカなどで楽しませていただいております。一か月ごとにレクリエーションを考え、季節ごとのイベントはもちろん、近隣のお祭り、カフェ、ドライブなども積極的に出かけていき、地域交流を図っております。何より若いスタッフが中心となり、活気がある施設づくりを目指しております。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所の周りは田畑で囲まれており、静かで落ち着いた環境である。光あふれる吹き抜けのリビングで、利用者はそれぞれの快適な場所で職員と話をしたり、昼食のジャガイモの皮むきをしたりして過ごしている。職員は一人ひとりの利用者に声をかけながら、自然体で目配り、気配りが出来ている。職員間のチームワークもとれていて、仕事の流れがスムーズである。ホーム長・管理者・職員の気持ちが一つにまとまっており、理念に沿った「利用者に対する深い愛情」を根本に、その人らしく生きられるように、人が見ているときも見ていない時もいつも変わらない姿勢で支援している。職員の入替わりも少なく、年を増す毎に充実していく素晴らしい事業所である。</p>
---

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理想の介護を目指し実現すべく理念を考え、毎朝の申し送りを利用し、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念に沿って、良質な環境づくりに努め、愛情を持ち、その人らしく暮らし続けられるように支援している。管理者・職員は具体的なケアについて、意見の統一を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事務長が老人会の役員をし、老人会行事などには積極的に参加、協賛など行い、地元の方々と交流を図っている。地域のお祭りにも参加している。	地域住民の一員として、役割を積極的に担っている。地域の行事・催しなどには、率先して参加している。継続した地域との関わりで、相互関係が成り立っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の症状に対する対処法、予防、維持に効果的な運動など月1回の便りや、運営推進会議などで発信している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事例をあげ、利用者へのサービス状況、効果などについて報告し、ご意見を頂戴し、さらなるサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一回、行っている。会議メンバーはほぼ定着している。率直な意見をもらい、活発な意見交換が出来、双方向的な会議となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは色々な機会でのコミュニケーションを取り、サービスの向上に取り組んでいる。	疑問点があれば、市町村担当者に即、相談する。市町村担当者とは様々な機会をとらえ、コミュニケーションを図ることで、スムーズな運営に活かされている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止行為を正しく理解し、玄関の施錠はもちろん、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に勉強会をしている。一人ひとりの利用者が抱えている根本的な不安や混乱などの要因を取り除くケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、利用者の自宅や事業所内での虐待がないよう注意を払い、防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は制度についての勉強会を行い、理解をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約に関しては十分な説明を行い、理解していただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族などからの意見、要望はすぐ管理者、職員内で共有し、検討会議をして運営に反映させている。その検討内容は運営推進会議等で外部者へ公表し、貴重なご意見をいただいている。	家族には訪問時や運営推進会議などで問いかけている。利用者の希望や想いは職員が聞きつけた時点で、白板に書き込み、ミーティングで話し合い、出来る事から取り組み、運営に活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に会議を行い、職員の意見を聞く機会を設け、改善すべき点は出来るところから着手し、より良いサービスを行えるよう努力している。	毎朝のミーティング、運営会議、リーダー会議、全体会議等々、管理者と職員が話し合える機会は多々ある。自由に意見を書き込めるノートもある。管理者と職員とは自由に意見が言える関係である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者、職員個々の努力、実績、勤務状態は随時報告を受け、給与水準、研修など各自が向上心を持って働けるよう環境、条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修は積極的に参加を推進し、トレーニングを進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修先で知り合った方々とその後も連絡を取り合い、お互いでよかったとこ、改善すべきことなどを共有できる機会があった。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	バリデーション療法、タクティールケアの手法を取り入れ、お一人ひとりに寄り添う介護をすべくコミュニケーションを密にとり、信頼関係を早く築けるよう努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とも安心していただけるまでじっくりと話し合い信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一番困っていること、求めていることを見極め、その解決策を探るべく対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	今まで生きてこられた中での経験、知識を教えていただいて、職員も共感しながら日々楽しく生活を共にしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者と家族との関係の理解に努め、利用者の心身の状態を双方把握し、共により良いケアについて話し合い、利用者を支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの方の訪問等は歓迎しており、またドライブなど行く場合は、思い出の場所に立ち寄りたりする等支援に努めている。	事業所に毎日訪ねて来られる方もいる。ドライブは墓参りや馴染みのある思い出の場所に出かけている。地域とは継続した関係が出来ているので地域行事には積極的に出かけている。職員は一人ひとりに合わせた対応で支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、皆様が仲良く過ごせるよう、部屋や席など配慮し、お互いが支えあって過ごしていただけるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も利用者や家族からの相談には積極的に乗り、施設や病院の紹介などきめ細やかなサービスを行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや希望は、よくコミュニケーションを取り把握したうえで、最善のケアをすべく努力している。	職員の洞察力は鋭く、利用者の日頃の様子から一人ひとりの思い・希望・意向の把握に努め、満足のいく支援となっている。ご家族が運営推進会議で「ここはいいところだ！」と言ってくれた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活歴や馴染みの暮らし方は最初にしっかりと聞き取り把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方、状態、有する力などは早い時期に把握し、カンファレンスを行い、より良いケアに結び付けている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は関わっている方々の様々な意見やアイデアを取り入れ行っている。	日々の介護記録やチェック表から、それぞれの職員は経過記録と利用者・家族の要望・自分のアイデア・意見を書き入れ、それを基に会議で話し合い、計画作成担当者が作成する。出来上がった介護計画はみんなで共有している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアの記録は毎日個別に行い、職員皆が情報を共有しながら実践や計画見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人や家族の状況、要望に応じ、様々なサービス支援が出来るよう体制を整えている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	理美容の出張サービス、大正琴やマジック、踊りなどのボランティアの方々の受入、自治会、老人会などは良くコミュニケーションを取り、地域全体と協力しながら支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人や家族の要望があれば今までのかかりつけ医に引続き通院していただき、普段の様子をきちんと申し送り、良好な連携を図っている。	受診や通院はご本人やご家族の要望に応じたかかりつけ医を選択してもらっている。事業所に訪問歯科も来られているが、歯科もご本人やご家族の希望に応じた対応をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は3名おり、日常の健康管理や変化にはいち早く対応できる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院される場合は、病院関係者との密な情報共有はもちろん、できるだけ早期に退院し、お迎えできるよう情報交換、相談に努めている。またそういう場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度や終末期の利用者、家族には、最初に様々なケースに対する対応の仕方を話し合い、かかりつけ医等と連携して支援に取り組んでいる。	安心して納得した最期を迎えられるように事業所として対応できる最大の支援方法を家族に話している。家族の思いを聞き取り、意向に沿った対応をしている。かかりつけ医と協力体制が整っているため急変した場合はかかりつけ医と看護師に即、連絡する。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている	定期的に応急手当、初期対応の訓練を行い、実践力を身につけている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火訓練の実施、毎日の火元を点検し、地域の方がによる協力体制もできている。合同の災害訓練も実施した。	運営推進会議を通じて地域との協力体制は出来ている。水・食料・薬・オムツなど、準備している。年4回位、地震や災害に備えて、消火器の扱いや通報の訓練をしている。消防署には年2回、一緒に訓練をお願いし、指導を受けている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報やプライバシーについては研修を行い、職員皆がその重要性を認識し、きちんと実践している。	目立たずさりげない言葉かけや対応をしている。誇りやプライバシー確保について、常に勉強し、意識し続けることを大事にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	共感とコミュニケーションを重んじるバリデーション療法と、タクティールケアを用いて、ご本人の思いや希望をくみ取り、それが活かせるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々ゆったりとお一人一人のペースを大切にしながら、ご希望に沿う形で生活を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に1回主張理美容サービスを受入、顔ぞり、白髪染めなどにも対応している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	オープンキッチンを活かし、季節に合わせたメニューを皆様の好みや力量を活かしながら、職員も一緒に食事や片づけをしている。	朝、利用者2~3人がジャガイモの皮を剥いていた。それを昼食の献立にしっかり使っていた。盛り付けの彩よく、ばら寿司・たこ焼き・バイキングと、食事が楽しいものになるよう工夫している。行事会や誕生会には利用者の好	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人一人の食事、水分量を一日を通じて記録し、状態を職員皆が把握し、ケアに活かしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人一人の口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	記録を取り、個別の排泄パターンを把握し、お一人一人の力量を見ながら、トイレへ誘導する等支援している。	毎日の記録で個別の排泄パターンを知り、プライバシーに充分配慮しながら、個人のペースでトイレ誘導している。意思表示のない利用者は尿意を見逃さないように気を配り、一人ひとりに適した支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録により状態を把握し、便秘の場合は水分補給、寒天、ヤクルトなどの飲食物の工夫や運動を促し、なるだけ自然に出るよう取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は希望に添い、声かけや見守り、補助等の支援をしている。	入浴は平均、週に3~4回である。入浴を拒む利用者も職員の言葉かけひとつで入浴する。入浴は一人なので、職員は一人ひとりと話が出来、ゆっくり浸かってもらっている。ヒートショックへの配慮もしている。毎日入浴希望があれば柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜も記録を取り、睡眠状態を把握したうえで、日中運動等を促したり、生活パターンを見直すことで安眠していただけるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お1人ひとりの健康状態、治療状況は職員皆が情報を共有しており、服薬の支援、状態の把握を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者それぞれの生活歴や楽しみ事を把握し、様々なレク、運動、散歩、ドライブ、買い物など個別に対応し、皆様に楽しんでいただいている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日、季節に応じて、皆様の希望を聞きながら、散歩やドライブに積極的に出かけ、帰りに喫茶店でお茶したりなど皆様楽しみにされている。	気分転換やストレス発散の機会として、天気の良い日には大型スーパーや高速のサービスエリアに出かけ、買い物をしたり、カフェで休憩したりしている。桜や海・紅葉と季節に応じて出かけ、楽しんでもらっている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは職員が一括管理した上で、買い物に出かけるときは、お1人ひとりの力量、希望のうえお金を所持、使ったりできるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があれば電話は自由に使えて、またそれぞれ年賀状など季節の手紙を書いたりされている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木をふんだんに使い、室内は明るく、夏は暑くなる天窓にはカーテンを設け、またエアコンの空気が循環するようシーリングファンを取り付け、冬は暖かく過ごしていただけるよう工夫している。	光あふれる吹抜のリビング。空気のよどみなど微塵も感じられない。爽やかで居心地の良い、共用空間である。トイレや洗面所も清潔に保たれている。カレンダーや時計も見え易い位置に据え付けられている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを配置したり、家具の配置も必要に応じて変えるなど思い思いに過ごしていただけるよう工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の意向によりご自宅で使い慣れた家具や備品を持ち込んでいただき、好みに応じて畳を敷いたり、絵や花を飾ったりしていただいている。	居室は掃除が行き届き清潔である。タンスや備品が持ち込まれ、自室として快適に過ごしている様子が伺える。利用者が落ち着いて、安心して過ごせるように工夫している。。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりやいすを必要ところに配置し、混乱や失敗を招くような原因はできるだけ排除し、安全かつ自立した生活を送れるよう工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目【アウトカム項目】

項目		取り組みの成果(該当するものに○印)		項目		取り組みの成果(該当するものに○印)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼすべての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼすべての家族と
			②利用者の2/3くらいの				②家族の2/3くらいと
			③利用者の1/3くらいの				③家族の1/3くらいと
			④ほとんど掴んでいない				④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に一度程度ある				②数日に1回
			③たまにある				③たまに
			④ほとんどない				④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼすべての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②利用者の2/3くらいが				②少しずつ増えている
			③利用者の1/3くらいが				③あまり増えていない
			④ほとんどない				④全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き活きた表情や姿が見られている	○	①ほぼすべての利用者が	66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②利用者の2/3くらいが				②職員の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが				③職員の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
60	利用者は戸外の行きたい所へでかけている	○	①ほぼすべての利用者が	67	職員から見て利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが				②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが				③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼすべての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②利用者の2/3くらいが				②家族等の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが				③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼすべての利用者が				
			②利用者の2/3くらいが				
			③利用者の1/3くらいが				
			④ほとんどない				

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		普段のリレクションでドライブや外出等しているが、行きたい場所、そこで食べたい物、買いたい物、したい事等、希望に添えていないと思う。	月1回外出の機会を設け、一人ひとりの意向に合った個別的な活動支援を行う事により、今より充実した満足度の高い物を目指す。	今回は特性要因図を用いて、一人ひとりのニーズを明確化して行く。そうすることで、その人に合ったサービスが提供でき、より良い満足度が高まると思われる。	
2					
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。